



GALAの一部



PEP/JNA



RPWIのPreamp部

木星氷衛星探査計画(JUICE)搭載機器を 宇宙科学研究所(ISAS)へ納品

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)のISASIに、木星氷衛星探査計画(JUICE)搭載機器を納品しました。

JUICEは、欧州各国をはじめ日本や米国が参加する史上最大級の国際太陽系探査計画であり、ヨーロッパ宇宙機関(ESA)が主導するプロジェクトです。木星の成り立ちや太陽系の起源、宇宙における生命存在の可能性に迫ることを目指しています。当社は、ガニメデーザー高度計(GALA)、粒子環境観測パッケージ/非熱的中性粒子観測器(PEP/JNA)の電子回路部、プラズマ波動および電波観測機器(RPWI)の開発を担当しました。2023年4月にギアナ宇宙センターから打上げ予定です。

明星電気は国際プロジェクトへの参画を通じて、「宇宙の謎」の解明に貢献していきます。

(担当:宇宙防衛事業部)



試合開始前、スタジアムスクリーンに投影されているPOTEKA気象情報



施設内にて稼働中のPOTEKA

ザスパクサツ群馬にPOTEKA気象情報を提供

プロサッカークラブ「ザスパクサツ群馬」のホームグラウンドである正田醤油スタジアム群馬(群馬県前橋市)において、POTEKAによる気象情報の提供をスタートしました。

本件は、ザスパクサツ群馬と、そのホームスタジアムの公園施設管理を担当するオリエンタル群馬との三者共同プロジェクトであり、民間の活力を活かし、SDGsへの貢献、県有施設へのDX推進を図ろうとする取り組みです。POTEKAは、サッカー観戦者へピンポイント気象情報を提供するほか、施設における植生管理などに活用されます。

明星電気は、地元群馬県のパートナーとも連携し、これからも独自のSensing & Communication技術により得られる情報を広く社会に向けて発信していきます。

(担当:気象防災事業部)



新ゾンデについてプレゼンする当社従業員

世界気象機関(WMO)気象・環境測器および 観測法に関する技術会合(TECO-2022)に参加

10月10日から13日にかけて、世界気象機関(WMO)気象・環境測器および観測法に関する技術会合(TECO-2022)がフランス・パリにて開催され、当社従業員が新たに開発した降水粒子撮像ゾンデ(Rainscope)と雲粒子撮像ゾンデ(Cloudscope)に関し、その発表を行いました。

TECOは、世界の気象局が運用する気象・環境測器および観測法の情報共有の場として2年に一度開催されています。2020年はコロナ禍の影響で中止されたため、今回4年ぶりに開催されました。

当社が発表したRainscopeとCloudscopeは、気象レーダーなどのリモートセンシング機器が捉える降水や雲を直接撮像・観測することが可能であり、上空の検証用データを得ることが期待される新しい気象測器です。

(担当:気象防災事業部)

【文中:敬称略】

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により、革新的な商品・サービスを創造し、安全・安心な社会の発展に貢献していきます。